

2012年（平成24年）12月23日（日曜日）



4月に教育担当にな
ってから、8カ月と平
月が過ぎた。大館市を
中心とした小・中・高
校、あるいは幼稚園、
保育園などで行われて

いる学習の取り組みの
数々取材しながら、
ユニークさと教育効果
の高さに感心させられ
ることが多い。

市内の小学校でも特
に活動が顕著な一つが
積迎内小（五十嵐経校

長）。コマやネギなど
農作物の栽培、鶏舎で
の比内地鶏の飼育のほ
か、何といても目を
引くのが、地域で一体
となって取り組んでい
る積迎内サンフラワー
プロジェクト。

同プロジェクトは、

夏の種類まきから秋の収
穫作業、製造品の販売
などを行っている。先
日も市内のショッピング
センターで児童がヒ
マワリ油の販売を行
い、店内に元気な声を
響かせていた。

児童にとっては、自
ら、職業観を養えるな
どその教育効果は高い
のではないだろうか。

地域一丸となつての
取り組みであるから、
人同士の交流もまた、
コミュニケーション能
力育成などに大きな役
割を果たすのだろう。

現場の熱意に触れる

ヒマワリの栽培を通じ
て地域活性化を図るも
ので、同校をはじめと
する積迎内地区の学
校、事業所、地区住民
が一体となって展開し
ている。食用油の製造
が中心で、同校では初

分たちで育てた農作物
から作った製品を販売
するという、農業・商
業の経験を社会に出る
前に味わうことにな
る。仕事の楽しさや難
しさ、そういったこと
を先取りできるのだか

初夏に行われた種まき
では、参加した70代男
性から「子どもたちと
会話しながらの作業は
元気が出る」、児童か
らは「地域の人と話が
できて楽しい」との感
想も聞かれた。

このほか、長木小で
は在来種のエゾタンポ
ポを地域に根付かせる
プロジェクトを推進し
ているし、成章小では
枝豆を育てて加工・販
売する取り組みを行っ
ている。挙げていると
きりがないほどで、い
ずれも教育関係者の
「地域を良くしたい」
という心意気が強く現
れており、その熱意に
は感心するばかりだ。

先日、北海道の友人
に同プロジェクトのヒ
マワリ油をお歳暮とし
て贈り、軽く説明をし
たところ「すごいね、
秋田は進んでいるね」
などと驚かれた。全く
同感である。

（沼田 章伸）